

2011年度事業報告

【概要】

2011年度は犬494頭、猫760頭の合計1,254頭を譲渡しました。

犬は団体受入後の死亡率が高く、猫は特に春先の譲渡不振によって、当初目標の犬600頭、猫1,000頭の合計1,600頭に対しては達成率78%と、遠く及ばない結果でした。

活動全体としては具体性と計画性に欠けたものが多くあり、譲渡につなげることが出来ませんでした。

【犬の飼育と譲渡】

犬は譲渡目標を超える723頭の受け入れを行ったものの、主にパルボウイルス感染症による死亡が233頭（死亡率32%）と多かったことが直接的な譲渡不振の原因です。

ライフポートの子犬の受け入れは千葉県と茨城県で大半を占めますが、千葉県の子犬は試行錯誤してきたワクチンプログラムが機能し1月～3月の千葉県受入の死亡率は、12月までの36.2%から12.5%まで低下しました。同様のプログラムが茨城県でも一定の効果があり、死亡率は36.7%から22.6%に低下しました。

結果として全体の死亡率は4月～12月の35.6%に対して、1月～3月17.9%に低下しました。

譲渡までの平均滞在日数は33日で、2010年度40日、2009年度57日、・・・と年々低下しており、パルボから生存した子の譲渡までの飼育管理は改善しています。

【猫の飼育と譲渡】

猫は2010年度に多くの子猫を死なせてしまった教訓を生かした飼育管理を行い、猫の感染症による死亡は57頭で、受入791頭に対する死亡率は7.2%に抑えることができました。しかし特に春先や、年間を通しての譲渡能力不足から受け入れは例年に比べてずっと少ない結果となりました。（2009年度は1,273頭・2010年度は1,264頭）

譲渡不振の直接的な原因は面会希望者数が減少していることですが、春先から試験的に開

始した広告掲載や、twitter/Facebookなどのインターネットサービスによる告知強化が徐々に効果を発揮し、1月には2年ぶりに月100頭を超える譲渡につながりました。

【当団体施設（アニマルシェルター）の移転】

昨年6月にお知らせしたアニマルシェルターの移転ですが、多くの皆様から合計2,535万円ものご寄付をいただきました（5月31日現在）。おかげさまで4月13日（※）には移転を完了し、14日からは通常通りの運営を再開することができました。

しかし同期間に移転費用として2,774万円の費用がかかっており、未手当の設備も多くあるため、引き続きのご支援をお願いしつつ、順次完成を目指しています。

※当初3月31日の移転完了を予定しておりましたが、3月に入ってから急きょ建物エリアをより広く借りられることになったため、レイアウト変更などで2週間の延期をしました。

この場をお借りして改めて皆様にお礼申し上げます。

【震災について】

震災が発生したのは2010年度末ですが2011年度内の関連するご報告をいたします。

震災直後は多くの方にご心配をいただきました。譲渡会の中止や、フードなどの供給が滞った時期がありましたが、おかげさまで動物も人間も無事に生活しています。

震災では多くの動物たちも被害にあったため、当団体でも何かできないかと団体内部で議論しました。被災動物を助けたい気持ちがある一方で、保健所で殺処分される犬猫がいなくなるわけではないので、本来活動を頑張ることで支援するのが良いとの考えから、2011年3月～6月に里親様からいただいた譲渡費用のうち1頭につき2,000円を緊急災害時動物救援本部に寄附しました。（合計で243頭分486,000円）

【常設面会場の開設について】

東京西部の常設面会場については、いくつかの候補物件を選定し契約可能な状態のものもありましたが、譲渡不振による資金と人員不足や、そうしたことを補う具体策の不足から実現に至りませんでした。

7月以降は施設移転のために進捗が止まっていましたが、移転のノウハウを生かして構想を見直している最中です。

【そのほかの活動について】

○12月にはライフボートの将来を担う人材として、スタッフから1名を理事に任命しました。

○保護猫・地域猫のために行っている外来不妊手術・ワクチン接種は不妊手術84件・ワクチン接種60件で、2010年度の55件・52件、2009年度の49件・47件を大きく上回りました。

○いくつかの企業に大量のフードや消耗品をご支援いただいたり、移転にあたって多額のご寄付をいただきました。また企業イベントへの招致・営業マンによるリーフレットの配布・中間支援NPOが主催する企業とのマッチングイベントへの参加など、企業との連携を目指す上でヒントになる経験の場を持つことができました。

○ホームページでは入口のリニューアルや、twitter／Facebookの利用を本格的に開始しました。訪問者にとっての利便性と、NPOとしてのライフボートが伝えたいことの両立を目指して改善を続けています。

以上が2011年度事業報告です。